



補強部材一覧作成ツール 操作マニュアル

エイム株式会社

2008/11/11

1

本マニュアルについて

- ・本マニュアルは、「木耐博士 S」バージョン 3.1.0.1 から加わった「補強部材数量出力機能」をより便利にご利用いただくためのツールについて説明するものです。
- ・本プログラムは「補強部材数量出力機能」によって作成された補強部材一覧を基に、補強部材一覧と補強部材の集計をより見やすく表組みするためのものです。
- ・本プログラムについては、(財)日本建築防災協会の木造住宅耐震診断プログラム評価対象外です。
- ・本プログラムの開発元および販売元はエイム株式会社です。

注意

- (1) 本書のコピーや転載は固く禁止します。特にコンピュータ関係の会社に対しての資料の流出を禁止します。
- (2) お使いの OS・ソフトにより、動作・画面等が本書の説明通りではないことがあります。個別にご確認下さい。
- (3) 本書の内容に関しては、予告なしに変更することがあります。
また本書とソフトウェアの動作に差異があった場合は、ソフトウェアが優先します。
- (4) 記載されている商品名は一般にエイム(株)の商標登録です。

ツールのご利用にあたって

本ツールは、プログラムの自動化にあたって Excel の「マクロ」という機能を用いています。

Excel のバージョンによってはマクロが正常に働かない可能性がありますので、予めご注意ください。

(本ツールは Excel 2003 および Excel 2000 にて動作確認を行っています)

数量出力のロジックについて

「木耐博士 S」の「数量出力」は、下記のロジックに基づいて行っております。

- ・出力される内容は「壁」「接合部」「基礎」「屋根」「劣化度」の 5 点です。
- ・上記の 5 項目について、「現状」と「補強案」の内容が異なる場合に補強箇所として数量を拾い出します。(ただし)
- ・壁については、1000mm 以下の部分を 1 箇所として出力します。
- ・接合部については、通し柱の場合は 1 本につき 1 箇所、その他の柱の場合は 1 本につき 2 箇所として出力します。
- ・柱を追加した場合、基礎の補強が同時に出力されます。必要のない場合は削除して下さい。
- ・屋根については現状よりも軽くなる場合、劣化度の場合は現状よりも低減係数がよくなる場合のみ出力します。

2 ツール操作方法

① CSV ファイルを作成する

① 木耐博士Sを使用して、補強プランの作成を行います。

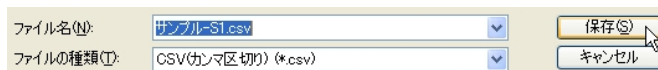
② 「出力画面」「耐震」「数量出力」の順にボタンを押します。

【ご注意下さい】

「耐震」ボタンを押した時点で、N 値計算のための CSV ファイルが自動で生成されますが、こちらのファイルをツールに読み込ませないようにご注意ください。



③ CSV ファイルが出力されますので、保存場所とファイル名を指定して「保存」をクリックします。
(このファイルを後ほど読み込みますので、保存場所はデスクトップ等のわかりやすい場所を指定してください)



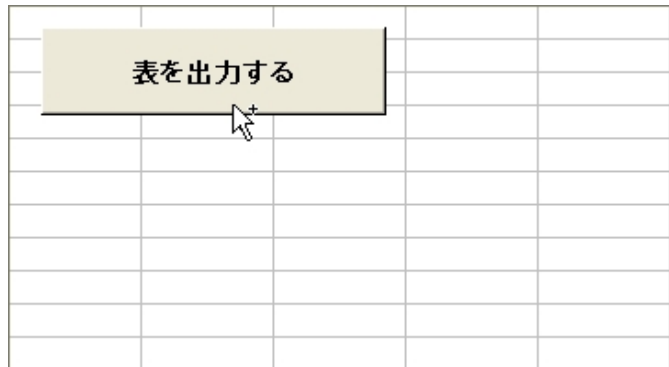
④ CSV ファイルが出力されました。

右の絵は出力された CSV ファイルを開いた状態です。この状態では一覧表や集計表が非常に見づらいため、ツールを使用してデータの並び替え等を自動で行います。

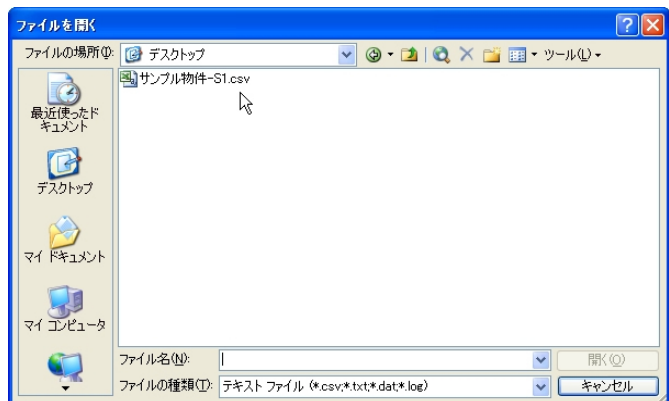
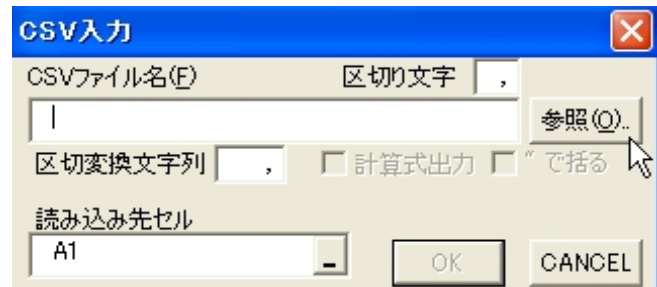
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	サンプル	種別									
2	種別	X	Y	位置	内容	長さ	記号	仕様			
4	1	11	4-5	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
5	1	11	4	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			
6	1	11	5	柱	柱		(ハ)	引張向き金物(引張)0.03+0.01			
7	1	17	1-2	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
8	1	17	1	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
9	1	17	2	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
10	1	17	7-9	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
11	1	17	7	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
12	1	17	9	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
13	1	11-13	1	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
14	1	11	1	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
15	1	12	1	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
16	1	16-17	1	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
17	1	16	1	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
18	1	6-8	5	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
19	1	6	5	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			
20	1	8	5	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			
21	1	8-9	5	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
22	1	9	5	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			
23	1	13-15	5	窓	窓枠	1.82	MT400	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
24	1	13	5	柱	柱		(1)	引張向き(右向きは)が金物P-F-L			
25	1	15	5	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			
26	1	16-17	10	窓	窓枠	0.91	MT090	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
27	1	16	10	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
28	1	17	10	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
29	1	1-5	12	窓	窓枠	1.82	MT400	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
30	1	1	12	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
31	1	5	12	柱	柱		OC1	アルミコーナースポット1個仕様			
32	1	8	2	柱	柱						
33	1	11	2	柱	柱						
34	1	11	6	柱	柱						
35	1	9	6	柱	柱						
36	1	11	9	柱	柱						
37	2	11	1-3	子窓	窓枠	1.82	C	*窓ノイカパッキン(兼)100mm			
38	2	11	1	柱	柱		(ハ)	引張向き金物(引張)0.03+0.01			
39	2	11	3	柱	柱		(5)	表は左向き(右向きは)が金物P-F-L			

② 補強部材一覧作成ツールを使用する

- ① 「補強部材一覧作成ツール」を開き、「出力ボタン」のシートを選択して「表を出力する」ボタンを押します。
(「補強部材一覧作成ツール」を開けない場合は、6 ページ「マクロの使用について」をご確認下さい)



- ② 読み込む CSV ファイル名を指定するダイアログが表示されますので、「参照」を押し、③で保存した CSV ファイルを指定します。
その後に表示される「CSV ファイルを削除しますか?」というダイアログでは「キャンセル」を押して下さい。



- ③ 補強部材一覧表および補強部材集計のシートが自動で生成されます。

Microsoft Excel - 補強部材一覧作成ツール.xls

MS Pゴシック 11 B I U

サンプル 様邸

1	A	B	C	D	E	F	G	H
2	サンプル 様邸		補 強 部 材 一 覧 表					
3	階数	X	Y	部屋	補強内容	壁の長さ	記号	仕様部材
4	1	11	4-5	和室	壁補強	0.91	MTG90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角g
5	1	11	4		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
6	1	11	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
7	1	17	1-2	居間	壁補強	0.91	MTE90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角入隅e
8	1	17	1		柱頭柱脚接合部		仕様Ⅱ	仕様Ⅱ
9	1	17	2		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
10	1	17	7-9	台所	壁補強	0.91	KTB90	*㊦NEWかべつよし大壁柱90角B
11	1	17	7		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
12	1	17	9		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
13	1	11-13	1	居間	壁補強	0.91	MTE90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角入隅e
14	1	11	1		柱頭柱脚接合部		仕様Ⅱ	仕様Ⅱ
15	1	13	1		柱頭柱脚接合部		仕様Ⅱ	仕様Ⅱ
16	1	16-17	1	居間	壁補強	0.91	MTE90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角入隅e
17	1	16	1		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
18	1	6-8	5	押入	壁補強	0.91	MTG90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角g
19	1	6	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
20	1	8	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
21	1	8-9	5	和室	壁補強	0.91	MTG90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角g
22	1	9	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
23	1	13-15	5	居間	壁補強	1.82	MTH90	*㊦モイスかべつよし真壁柱90角添え柱90h
24	1	13	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
25	1	15	5		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
26	1	16-17	10	台所	壁補強	0.91	MTE90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角入隅e
27	1	16	10		柱頭柱脚接合部		OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様
28	1	17	10		柱頭柱脚接合部		仕様Ⅱ	仕様Ⅱ

コマンド NUM

【補強部材一覧表】

Microsoft Excel - 補強部材一覧作成ツール.xls

MS Pゴシック 11 B I U

サンプル 様邸

1	A	B	C	D	E	F	G
2	サンプル 様邸		補 強 部 材 集 計				
3							
4							
5				補強内容	記号	仕様部材	数量
6				壁補強	MTG90	*㊦モイスかべつよし大壁柱90角入隅e	6
7				壁補強	MTH90	*㊦モイスかべつよし真壁柱90角添え柱90h	6
8				壁補強	KTB90	*㊦NEWかべつよし大壁柱90角B	1
9				壁補強	C	*㊦モイスかべつよし真壁柱90角添え柱90h	2
10				壁補強	MTG90	*㊦モイスかべつよし真壁柱90角g	3
11				柱頭柱脚接合部	仕様Ⅱ	仕様Ⅱ	12
12				柱頭柱脚接合部	OC1	オリジナルコーナー金物1個仕様	34
13							
14				※ 壁補強の箇所数については、1m以下を1箇所として算出しています。			
15							
16							
17							
18							
19							

コマンド NUM

【補強部材集計】

【ご注意ください】

出力したデータについては、「名前を付けて保存」を行い、別途保存していただきますようお願いいたします。
 (一度「表を出力する」ボタンを押すと、前のデータが上書きされてしまいますのでご注意ください)

3

マクロの使用について

マクロを使用している Excel ファイルを開く際に、「マクロが使用できません。セキュリティレベルが高に設定されています」などの警告が出る場合があります。

この場合、以下の手順を行うことによってマクロを使用することが可能となります。

【ご注意ください】

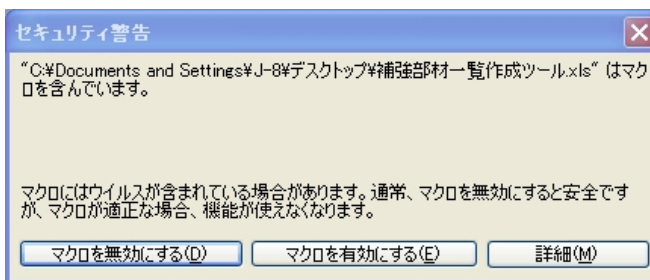
下記の操作を行うことにより、Excel のセキュリティレベルが従来の設定より低下することがあります。

Excel のセキュリティレベルを下げたことにより発生した問題につきましては、一切責任を負うことができませんので予めご了承下さい。

Excel2000・2002・2003（セキュリティレベル「中」の場合）

① ツールを開く時に右のような警告が出たら、「マクロを有効にする」をクリックします。

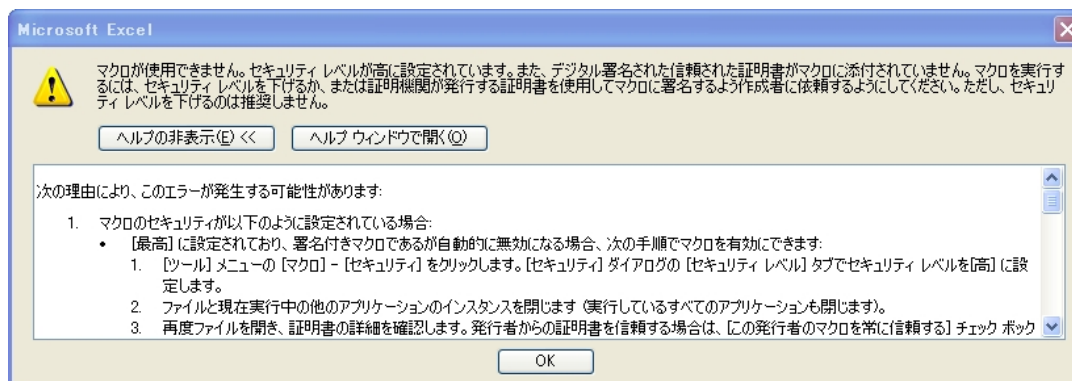
以後は「2. ツール操作方法」の説明に従って操作して下さい。



Excel2000・2002・2003（セキュリティレベル「最高」「高」の場合）



セキュリティレベル「最高」

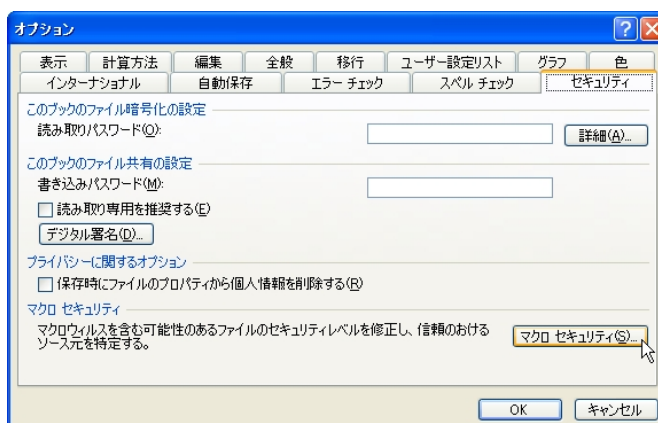


セキュリティレベル「高」

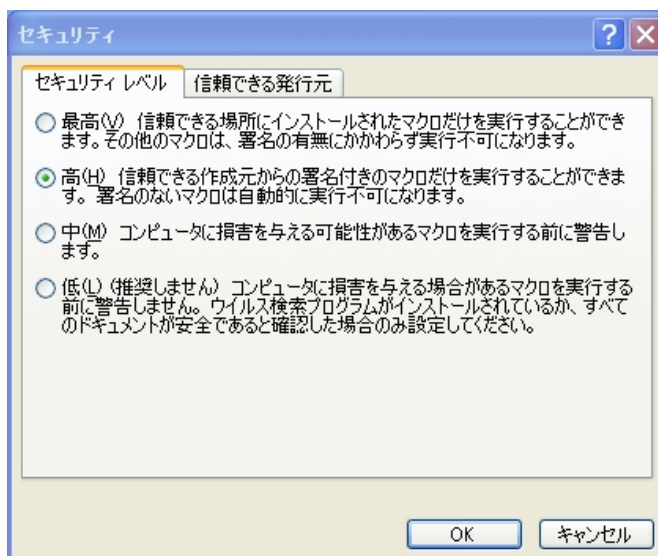
セキュリティレベルが「最高」「高」の状態では、基本的にマクロを使用することができません。
この場合、下記の操作を行い、セキュリティレベルを「中」以下にする必要があります。

操作の手順

- ① Excel を起動後、「ツール」から「オプション」を選び、「セキュリティ」のタブをクリックします。その後表示された画面から、画面下にある「マクロセキュリティ」のボタンを押します。

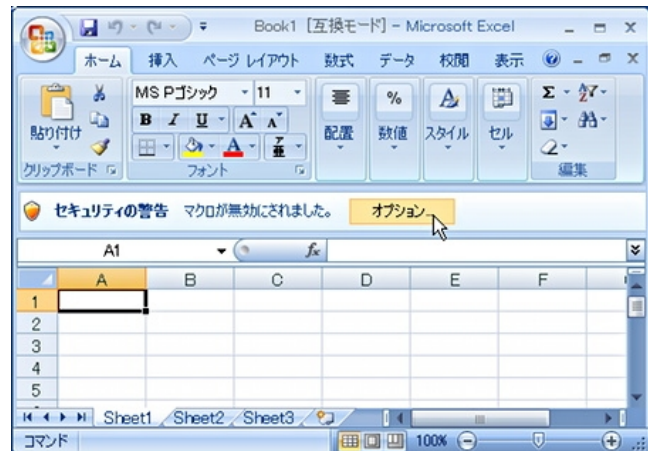


- ② セキュリティレベルを「中」あるいは「低」に設定し、ツールを一度閉じていただいた上で再度ツールを開きます。
「中」の場合はファイルを開く際にセキュリティの警告が表示されますので、「マクロを有効にする」をクリックするとマクロを使用できるようになります。
「低」の場合はマクロを含んでいるファイルを警告せずに開くことになるため、セキュリティレベルを「低」にする場合には十分ご注意ください。



Excel2007 の場合

- ① 「セキュリティの警告」が表示されたら、「オプション」を押します。



- ② 「このコンテンツを有効にする」を押し、「OK」を押します。

